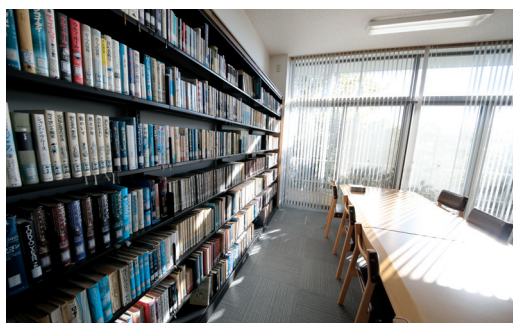


# 図書館だより

No.97 December, 2022



## 目次

### 読書のすすめ

故きを温めて新しきを創る . . . . .	材料システム工学科	川上 雄士	1
〈見た目〉と〈オマケ〉で読書の幅を広げよう . . . . .	一般科目 (文科系)	常木 佳奈	2
教員推薦図書 . . . . .		教員 5名	3
私の一冊 . . . . .		各学科学生 6名	4
図書館からのお知らせ			
学生用図書・テクノネット久留米文庫等一覧 . . . . .			5
Information 編集後記 . . . . .			7

National Institute of Technology, Kurume College Library  
久留米工業高等専門学校図書館



材料システム工学科 川上 雄士

## 故きを温めて新しきを創る

今は2022年、学生の皆さんが生まれたのは、2000年から2007年頃でZ世代ですね。私は、新人類と言われた世代で、そろそろ還暦と言われる頃を迎えるような歳です。学生の皆さんの3倍くらい長く生きていて、皆さんの年頃の時には、若すぎて分からなかったことが、少しずつ分かってきて、リアルに感じるできるようになりました。その一つが、「歴史は繰り返す」と言うことで、最近は特にそのことを感じています。

我々日本人だけではなく、世界中の人々も含め、生活に大きな影響を与えているCOVID-19も、ロシアによるウクライナ侵攻もこれまでに我々が歴史上、幾度も経験していることです。COVID-19は、およそ100年前に流行した「スペイン風邪（インフルエンザ）」や中世ヨーロッパで猛威を振るった「ペスト」などと同じことが今も起きているのです。ウクライナ侵攻も90年前に日本が起こした「満州事変」と同じような構図です。ロシアが領土回復とか親ロシア住民の解放と言っていることと同じようなこと（戦争と言わずに、侵攻、事変と言っていることも）を日本も言っていました。武力による他国の領土の侵害は歴史上、枚挙のいとまがありません。

なぜ、人間はこのような同じことを繰り返しかえし起こしてしまうのでしょうか。人間の本質的な欲望やエゴイズムによって起こってしまうことでもあるので、本当の答えは哲学などが答えてくれることかもしれません。私は、過去に同じようなことを人類が経験しているのならば、歴史に学ばないことが、その理由ではないかと思えます。過酷な経験をしてきた人類は、その記録を歴史として書物に残しているのです。なぜそれを学ばないか、せっかく同じ経験をしている過去の人類がいるのに。

図書館や書店に並ぶ本や書物に書いてあることは全て過去のことです。未来のことは予想であって、現実起きたことは過去のことです。授業で皆さんが使っている教科書も過去のこと、既にわかっている、誰かが経験したことが書いてあります。でも、そのことがとても重要で、私たちは、過去のこれまでの経験や知識を自分のものにするので、新しい何かを創造していかなければなりません。

学生の皆さんの年頃は、新しい何かを創造するための基礎を作っている段階です。過去のこと、これまで人類が経験してきたことを数多く学び、自分の人生の基礎としてください。高学年になると、それまでに学習した基礎を生かして研究に取り組むことになります。そこでも、これまでの先行研究をじっくり調べるのがとても重要です。我々が専門としている自然科学の分野では、「巨人の肩に立って遠くを見る」という言い方をよくします。先人の積み重ねてきた研究や発見を基にして、新しい何かを発見して創造していくことを言っています。

そのためには、本だけではなく研究論文なども数多く読む必要があります。久留米高専の図書館には、電子ジャーナル、データベースがあります。これらを使えば世界の自然科学の論文を検索して読むことができます。ものすごく大きい巨人がこの中にはいるのです。その肩に立って、もっと遠くの広い世界を見ることができるはずで、GoogleにもGoogle Scholarのサイトに行けば、世界の学術論文にアクセスすることができます。

学生の皆さんは、低学年のうちに自然科学の基礎的なことを学んで、高学年になったらそれらの基礎知識を活用して、新しい何かを創り出して下さい。われわれ教職員は、学生の皆さんに巨人の肩への昇り方を教え、昇ったあとに、そこからのより遠くの景色がよりよく見えるようにその見方を教えます。

これまでに人類が学んできた古（故）いことを、書物や論文、電子ジャーナルで学んで（温め）て、新しいことを創って行って下さい。

### 温故創新：故きを温めて新しきを創る

私が久留米高専に来たのは2011年で、着任直後に、この読書のすすめを寄稿したことがあります。そのときは、「貴方は貴方の読んだものでできている」という記事を書きました。その思いは今も同じで、皆さんの若い、感受性の強い、ゴールデンエイジに読む本によって皆さんの心と頭は作られていくのです。良質なものをたくさん読むのがよいのですが、まずは好きなものや楽しいものから読んで行って、本を読むことの楽しさを覚えてください。



## 〈見た目〉と〈オマケ〉で読書の幅を広げよう

一般科目（文科系） 常木 佳奈

ふらりと書店へ立ち寄ったとき、ふと手に取るのはどのような書物だろう。「好きな作家の新刊が出ているぞ」「何だかユニークなタイトルの小説だな」という理由によることもあるだろうが、書物の意匠——表紙絵や背表紙のデザインなど——つまり〈見た目〉に惹かれてつい手が伸びた、という経験をした人は少なくないはずだ。あるいは、付録や特典などの〈オマケ〉目当てで漫画や雑誌を買ってしまったことがある、という人もいるのではないだろうか。

私が研究者として興味をもっているのは、作り手（作家だけでなく、出版に携わるすべての人物）はどのような戦略をもって書物をつくり読者へ届けるのか、また読者は何をきっかけに書物を手に取るのか、ということだ。現在はこのような視点から、明治20年代から大正初期にかけての小説に付された木版多色摺の口絵にかかわる研究に取り組んでいる。「口絵」というのは書物の巻頭に挿入されるイラストレーションのことで、現代の週刊／月刊漫画雑誌やコミックス、ライトノベルなどに挿入されているのを見たことがある人も多だろう。実は、この口絵文化を辿っていくと江戸時代にまで遡ることができるのである。紙幅の関係で詳細は割愛するが、明治時代になると、口絵は作品の〈読み〉を深めるための装置としてだけでなく、現在でいうところの〈オマケ〉的なものとして読者に求められるようになった。この木版口絵の人気ぶりは、作家・尾崎紅葉にさえ「今は口絵がなければ買つて呉れない世の中」（『文壇雑俎』『読売新聞』（1899.2.13別刷））とさえ言わせたほどである。このような〈オマケ〉に限らず、書物の意匠も読者の購買欲や所有欲を刺激することがあったそうだ。たしかに、小村雪岱が装丁を手掛けた〈鏡花本〉などは現代の私たちが見てもため息が出るほど美しく、手元に置いておきたくなくなってしまふほどである。このような事情があるのだから当然、明治時代の書物の作り手は内容と同様に、時にはそれ以上に、意匠や〈オマケ〉に工夫を凝らしたと考えられよう。今も昔も、人間は美しいモノに惹かれ、それを所有したいと考えるのだ。

さて、国語科の教員として、あるいは一大人としてみ

なさんにオススメしたい作品はさまざまあるが、そのようなものは授業で取り上げることとして、ここではこの夏に書店でビビビときた〈見た目〉の本を1冊紹介しよう（新刊本ではないが）。

○森見登美彦『熱帯』（文藝春秋、2018）

『四畳半神話大系』や『夜は短し歩けよ乙女』のおかげですっかり中村佑介とのコラボレーションの印象が強くなっている森見作品であるが、ミニチュア写真家の田中達也がカバーを担当していることが印象的で手に取った。カバーをめくると、表紙絵とはまったく趣の異なる何ともレトロ



な表紙絵が！これは一体どういうことなのだろう…と購入後に第一章を読んでもみると、ムムム、なるほどそういうことか、と納得。装丁が読者を物語世界へ引き込む効果的な装置となっていることに気が付くと、思わずクラッときてしまった。実はまだ読み途中ではあるが、ここ最近で最も印象的な装丁であったためここで紹介した次第である。文庫化もされているがハードカバーオリジナルの装丁であるため、後者を購入することをオススメする。

「本を見ただ目で選ぶなんて邪道だ！」と思っていた人もいるかもしれないが、この文章を読んで少しでも視野を広げてみようと思ってもらえたのであれば光栄だ。みなさんも書店で本の表紙や背をぼんやりと眺め、ビビビときた本を購入してみよう。そして帰宅後は、その本を目で、鼻で、手で存分に愛でてから、大切に読み進めてほしい。普段は選ばないようなジャンル／内容の本かもしれないが、直感的な出会い、あるいは〈オマケ〉に目がくらんだ出会いも、きっとみなさんの読書の幅を広げてくれるだろう。

# 教員推薦図書

デーブル・カーネギー 著 山口 博 訳  
人を動かす [新装版] (創元社)

生物応用化学科 萩原 義徳

タイトルの通り、この本には他人の心を動かしてその人の行動や考え方を変えるために、まず自分自身の立ち振る舞いはどうあるべきかが書いてある。ビジネスだけでなく、人間関係の機微に触れる普通の生活にも大いに役立つ話が盛り沢山であるといえよう。

初版は、1936年にアメリカで発行され、世界各国での翻訳と改訂が重ねられて、現在もお増版されている世界的名著である。私がこの本を初めて手に取ったのは、大学院生くらいのころだったろうか。今回、推薦図書を紹介するにあたり、改めて読み返してみようと本棚で埃をかぶっていた本書を開いた。高専図書館にもありますので、皆さんもぜひ。

図書館所蔵情報：159 || Z-C || 1

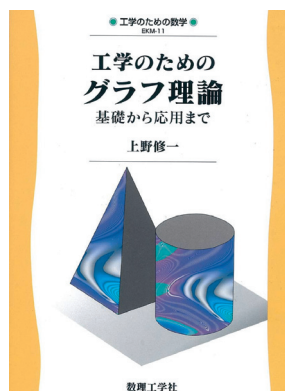
上野 修一 著

工学のためのグラフ理論  
基礎から応用まで (数理工学社)

一般科目 (理科系) 中村 駿介

路線図、電気回路、WWWリンク構造はグラフ理論というグラフです。グラフ理論とは、頂点とそれを結ぶいくつかの辺からなる図がもつ性質を探求する学問です。上の例でも挙げた通り、工学的な応用が多くあることから注目されている応用数学の一分野です。本書には、グラフ理論の創始者と言われているレオンハルト・オイラーが解決した「ケーニヒスベルクの橋の問題」に関する定理が載っています。その定理とは、グラフが一筆書き可能であるための必要十分条件です。

このように、数学的に興味深い内容が記載されています。また、化学、電気、情報等の工学的な応用も載っているので、是非手に取ってみてください。



壺井 栄 著

二十四の瞳 (新潮文庫)

機械工学科 原田 豊満

瀬戸内海に浮かぶ温暖な小豆島が目には浮かぶような素朴でゆったりとした語り口で、物語は始まる。岬の分教場で出会った新米教師と12人の新入生の昭和初期から戦後までの物語。貧しさゆえの、戦争ゆえのいろいろな

出来事が、生徒と教師に襲いかかる。不思議と悲惨さを感じない。作家の個性？とのんびり読み進む。しかし最後のページで私は驚愕みにされた。呆然としながら本を閉じた。「職業作家」という言葉が浮かんだ。壺井栄は、職業作家だったんだ！単純に温かく素朴な人柄とだけ思っていた壺井栄に見事に裏切られた。人の心をいとも簡単に操ってしまう。作家は空恐ろしい。そんな気持ちになった唯一の本である。

貴志 祐介 著

新世界より (上・中・下) (講談社文庫)

制御情報工学科 江頭 成人

この作品はアニメで知った。超能力を持つ者たちと持たない者たちとの、何世代も続く戦いの物語である。

個々の力の差は歴然としているが、いろいろな対策に

よって、その能力の有無だけで勝敗が決するわけではないことを教えてくれる。そのような作品は数多くあるが、この作品は第29回日本SF大賞を受賞していた。その大賞の一覧にイノセンスの押井守氏の名前があった。押井氏のご令嬢は、本校卒業生である乙一氏のご令嬢である。本格ミステリ大賞の乙一氏や直木三十五賞の安部龍太郎氏のように名を残すこともなく、地道に社会を支えてくれる卒業生の一人ひとりに感謝を捧げたい。歴史は一人では作れないのである。

図書館所蔵情報：913 || Z-K || 35 (1)

・913 || Z-K || 35 (2) ・913 || Z-K || 35 (3)



トーベ・ヤンソン 著 山室 静 訳

たのしいムーミン一家 復刻版 (講談社)

電気電子工学科 ウリントヤ

人間誰もが感じる孤独感ですが、うまく乗り越えられるときもあれば、辛くてなかなか抜け出せないときもあります。近年、新型コロナウイルスの影響で人との交流が制限される中、若者達からの孤独感があるとの声や心のSOSを訴える相談が急増しているとの報道が増えています。今回、孤独を感じた時に読むおすすめの本として「楽しいムーミン一家」を紹介したいと思います。ムーミンはテレビアニメなどで若者たちにもよく知られているキャラクターだと思いますが、この本を手にとって一度じっくり読んでみてはいかがでしょうか。NHK「あさイチ」でも、孤独特集の一環として紹介されています。



# 私の一冊



逢坂 冬馬 著  
同志少女よ、敵を撃て (早川書房)



「お前は戦うのか、死ぬのか！」ドイツ兵に目の前で母親を殺された少女にそう問いかけたソ連軍の女性兵士は狙撃兵だった。守るため、弱者でない証明のため、自由を得るため、家族を喪った女性たちはその狙撃兵のもと銃をとる。



主人公は初陣から終戦まで多くの人間と出会い、死によって別れ、自らも100人の敵の命を奪ったことから率直な事実、「失った命は戻ることはなく、代わりになる命もまた存在しない」ただそれだけを学んだ。

この作品はタイトルの「敵を撃て」の敵とは何ものなのか考えさせられる作品です。ぜひ読んでみてください。

(機械工学科3年 高橋 大和)  
図書館所蔵情報：913 || Z-A || 64

Lucy Maud Montgomery 著 掛川 恭子 訳  
完訳 赤毛のアンシリーズ1  
赤毛のアン (講談社)

孤児院で暮らすアンは、男の子と間違えられてカスパート兄弟に引き取られる。赤毛のアンは、そこで起こるたくさんの事件とともに、アンの少女時代を描いた物語だ。

アンの豊かな想像力で語られる世界は、何を見ても新鮮だった頃を思い出させる。そして、もしもあなたが見えない友達(想像の中にしか存在しない)をたくさん抱えている子どもだったなら、この物語は誰にも認められなかった彼らの存在をきっと肯定してくれるだろう。あなたもアンと一緒に、美しいプリンス・エドワード島の自然と過ごす最高の1日を。

(材料システム工学科5年 松下 綾花)

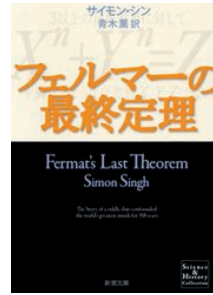
佐藤 和也・下本 陽一・熊澤 典良 著  
はじめての現代制御理論 (講談社)



この本は、現代制御理論の基本的な内容から始まり、LQR法の利用方法までを初学者向けに示してあります。制御工学と線形代数の基本的な内容が理解していれば読めます。ひたすらに数式がたくさん並べてあるばかりではなく、DCモーターや振り子等の比較的理解しやすいモデルを用いた説明が多く散りばめてあり、実際にどのように理論が活用されるかが直感的にわかりやすく示してありました。事細かに数学的な背景まで示してはありますが、基本的な概念の把握には十分利用できました。私がこの分野に興味を持つようになったきっかけのおすすめの一冊です。

(電気電子工学科 本科5年 山口 優輝)  
図書館所蔵情報：548 || Z-S || 9

サイモン・シン 著 青木 薫 訳  
フェルマーの最終定理 (新潮文庫)



これは、300年もの間証明されることがなかったフェルマーの最終定理について書かれた本である。この本では紀元前にまで遡り、数学の歴史を詳しく解説していく。その中で、我々が普段何気なく使っている数学の公式が誰によって生み出されたのか、それが後にどのように役に立っていくのかを知ることができる。私はこの本を通して、数学者の偉大さや数学という学問の進歩を実感した。数学の証明に関する本と聞くと難しいように感じるかもしれないが、この本は数学の知識がなくても楽しめる様な作りになっている。数学や歴史に少しでも興味があればぜひ読んでほしい。(機械・電気システム工学専攻1年 永松 博樹)

上橋 菜穂子 著  
香君 西から来た少女/遥かな道 (文藝春秋)



その少女の世界は香りに満ちています。

鋭い嗅覚と聡明な頭脳を持つ彼女は、とある帝国の土台となり、国民の飢えを救ってきた「魔法の稲」の禁忌に触れてしまうのです。この物語には様々な香りが、

印象深く描写されています。帝国に隠された謎と陰謀、美しい風景の中で稲や植物の研究に励む少女と、それを支え彼女を導き諭す仲間の様子が、鮮やかに描かれています。色とりどりの香りの描写と、後編で紐解かれる、はっと息をのむ種明かしにご注目ください。(生物応用科学科3年 東 恵巳)

渡波 郁 著  
CPUの創りかた (毎日コミュニケーションズ)



—この手でCPUが創りたい。—  
この地球(ほし)に生まれ落ちた人間なら誰もが一度は願ひ、挑み、儂く散りゆく幻想(ゆめ)。

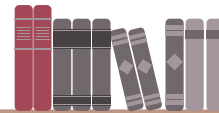
本書は、中学理科程度の知識のみでCPUの原理と設計、その実装法について解説する「超」入門書である。ユーモアを含んだ口語で展開される本文、90年代後半の“萌え”を想起させる趣のある挿絵、分かった

気になれる絶妙な例え話たちに翻弄されながら読み進めていくうちに、気づけば貴方は10個のICの刺さったブレッドボードを前にテスターを握りしめ、試行錯誤を繰り返しているであろう。情報系の学生は勿論のこと、情報系でない学生にも是非読んで欲しい。(制御情報工学科5年 田栗 青空)

図書館所蔵情報：549 || Z-T || 1・549 || Z-T || 5



# 図書館からのお知らせ



## 学生用図書・テクノネット久留米文庫等一覧

4月～10月までに購入した図書をまとめました。興味深い図書が沢山そろいましたので、是非、図書館へ足をお運びください。

学生用図書	
楽器の科学：美しい音色を生み出す「構造」と「しくみ」	天皇家の恋愛：明治天皇から眞子内親王まで（中公新書；2687）
統計学が見つけた野球の真理：最先端のセイバーメトリクスが明らかにしたものの	戦国日本の軍事革命：鉄炮が一変させた戦場と統治（中公新書；2688）
ゼロから学ぶ量子力学：量子世界への、はじめの一步	肝臓のはなし：基礎知識から病への対処まで（中公新書；2689）
日本人の「遺伝子」からみた病気になりにくい体質のつくりかた	北海道を味わう：四季折々の「食の王国」（中公新書；2690）
遺伝子とは何か？：現代生命科学の新たな謎	日本の国会議員
なぜ宇宙は存在するのか：はじめての現代宇宙論	クモの世界
北条義時：鎌倉殿を補佐した二代目執権	日本アニメ史
資本主義の方程式：経済停滞と格差拡大の謎を解く	日本共産党
モチベーションの心理学：「やる気」と「意欲」のメカニズム	戦後日本の安全保障
リヒトホーフェン：撃墜王とその一族	物語スコットランドの歴史
韓国愛憎：激変する隣国と私の30年	新体系・大学数学入門の教科書
人類の起源：古代DNAが語るホモ・サピエンスの「大いなる旅」	大化改新
中学英語「再」入門：日本語と比べて学ぶ14講	変異ウイルスとの闘い
ブラックホール：宇宙最大の謎はどこまで解明されたか	新体系・大学数学入門の教科書
中国哲学史：諸子百家から朱子学、現代の新儒家まで	生命はいかに誕生し、多様化したのか
進化の謎をとく発生学：恐竜も鳥エンハンサーを使っていたか	地球温暖化はなぜ起こるのか
漢字ハカセ、研究者になる	読書会という幸福
作家たちの17歳	中国のデジタルイノベーション
世界史の考え方	歴史像を伝える
タリバン台頭：混迷のアフガニスタン現代史	大絶滅は、また起きるのか？
ドキュメント「アメリカ世（ゆー）」の沖縄	空海
人新世の科学：ニュー・エコロジーがひらく地平	覇旅漫録：付蓑笠雨談
検察審査会：日本の刑事司法を変えるか	羅振玉自伝：集蓼編その他
これからの住まい：ハウジング・スモールネスの時代へ	新疆ウイグル自治区
学問と政治：学会会議任命拒否問題とは何か	日本のコメ問題
森と木と建築の日本史	ミュージカルの歴史
日本史サイエンス：邪馬台国、秀吉の朝鮮出兵、日本海海戦の謎を解く（ブルーバックス；B-2200）	帝国日本のプロパガンダ
本当に役立つ栄養学：肥満、病気、老化予防のカギとなる食べものの科学（ブルーバックス；B-2201）	転身力
職業としての官僚（岩波新書；新赤版 1927）	生物を分けると世界が分かる
日米地位協定の現場を行く：「基地のある街」の現実（岩波新書；新赤版 1928）	いま、この惑星で起きていること
西田幾多郎の哲学：物の真実に行く道（岩波新書；新赤版 1929）	応援消費
人種主義の歴史（岩波新書；新赤版 1930）	哲人たちの人生談義
ひらめき!英語迷言教室：ジョークのオチを考えよう（岩波ジュニア新書；952）	曾国藩
	森鷗外
	50歳からの科学的「筋肉トレーニング」

天変地異の地球学
病原体の世界
江戸漢詩の情景
ミャンマー現代史
アメリカとは何か
鎌倉武士の生活
躍動する女神たち
尹致昊（ユンチホ）日記
平氏：公家の盛衰、武家の興亡
マスメディアとは何か：「影響力」の正体
大東亜共栄圏：帝国日本のアジア支配構想
最後の審判：終末思想で読み解くキリスト教
縄文人と弥生人：「日本人の起源」論争
日本インテリジェンス史：旧日本軍から公安、内調、NSCまで
京都の山と川：「山紫水明」が伝える千年の都
韓国併合：大韓帝国の成立から崩壊まで
「美味しい」とは何か：食からひもとく美学入門
国鉄：「日本最大の企業」の栄光と崩壊
日本の気候変動5000万年史：四季のある気候はいかにして誕生したのか
1日4分世界標準の科学的トレーニング：今日から始める「タバタトレーニング」
時計遺伝子：からだの中の「時間」の正体
“正しい”を疑え！
津田梅子：女子教育を拓く
記者がひもとく「少年」事件史：少年がナイフを握るたび大人たちは理由を探す
日本中世の民衆世界：西京神人の千年
古代ギリシアの民主政
縛られる日本人
絵画で読む『失われた時を求めて』
アイルランド現代史
キリスト教美術史
宇宙を解くパズル
カラー図解脳の教科書
スピノザ
ジョン・デューイ
学び合い、発信する技術
凝固工学の基礎
温度計測
すぐできる量子化学計算ビギナーズマニュアル
動かして理解する第一原理電子状態計算
品質管理に役立つ統計的手法入門
やってみよう！NIMSの材料実験

図解金属3D積層造形のきそ
機械保全の徹底攻略
ファインバブル入門
バイオコークス
環境と社会
ものづくり技術者に捧げる対の思考法

学生リクエスト
はたらく細胞BLACK 1
はたらく細胞BLACK 2
はたらく細胞BLACK 3
はたらく細胞BLACK 4
はたらく細胞BLACK 5
はたらく細胞BLACK 6
はたらく細胞BLACK 7
はたらく細胞BLACK 8
X i n uオペレーティングシステムデザイン
松田聖子の誕生
宮廷女性の戦国史
The mathematical theory of communication

テクノネット久留米
セキュア・バイ・デザイン
作って動かすAlife
毒物ずかん
13歳からのアート思考
生物流体力学
客観性
ゲームエンジンアーキテクチャ
Blender2.9 3DCGモデリング・マスター
数学から創るジェネラティブアート
アニメーターズ・サバイバルキット
覚醒への旅
江戸川乱歩傑作選
すばらしい新世界
名のないシヤ
Algebraic geometry and arithmetic curves

# Information

下記のとおりお知らせします。開館日時の変更にはご注意ください。



## ◆特別(長期)貸出について

冬季休業中の特別(長期)貸出は下記のとおりです。

- ・対象期間：12月 9日(金)～23日(金)
- ・返却期限：1月10日(火)
- ・貸出冊数：5冊以内  
(一般利用者及び教職員は通常貸出です。)

## ◆卒業・修了予定者への貸出等について

今年度卒業・修了予定者への貸出は下記のとおりです。

- ・貸出：2月14日(火)まで
- ・返却：2月28日(火)まで

## ◆開館日時の変更及び休館日について

冬季休業及び年末年始は下記のとおりです。

- ・12月26日(月) 9時～17時 開館
- ・12月27日(火)～1月4日(水) 休館
- ・1月 5日(木) 9時～17時 開館
- ・1月 6日(金) 9時～17時 開館
- ・1月 7日(土)・8日(日)・9日(祝) 休館

※図書館HPにてご確認ください。



## ◆◆図書館からのお願い◆◆

- ・図書は返却日までに返却してください。
- ・閲覧室での飲食は禁止です。
- ・閲覧室内での携帯電話の使用はできません。
- ・閲覧室内での騒がしい行為・会話は禁止です。

## 《編集後記》

まずは、図書館だより第97号の発行にあたり、原稿を寄せてくださった皆様、そして、図書館だよりをご覧いただいている皆様に感謝申し上げます。今号も様々なジャンルの本を多数ご紹介しています。今後の勉強や進路、生活に役立つ本がきっと見つかると思いますので、ぜひ手に取って読んでみてください。また、例年通り、新しく購入した本もリストアップしています。

中には、授業で学んでいる内容の理解を深めるために役立つ本もあると思います。コロナや戦争の影響を受け、学生用図書の購入予算など様々な予算が削減されている現状ですが、図書館はどんな時でも皆様のお役に立てるよう、今後もできる範囲での最善のサービスを提供していきます。今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

(編集委員長 ウリントヤ)

発行日：令和4年12月7日

発行・編集：久留米工業高等専門学校図書館 Tel：0942-35-9306  
〒830-8555 久留米市小森野一丁目1番1号  
E-mail：L-staff.SAD@ON.kurume-nct.ac.jp